

HYOGO RECRUIT 2026

兵庫県庁、

こんな仕事、あんな人。

毎日何をしてどんなことを考えているのか。
服装は？ワークライフバランスは？
さまざまな視点から探る、兵庫県庁で働くということ。



兵庫県は通年でノーネクタイ・ノージャケットOK。毎日の服装を考えるのは大変だから、同じアイテムで組み合わせを変えろという声も。



Question **01**
勤務日の
服装のポイントは？

「動きやすい」「カジュアルすぎない」
「清潔感」「TPOにあわせて」「温度調整がしやすい」
「ワンピース/シャツ&スラックス」「その日の気分」

お弁当

同僚と外食
(レストラン、カフェなど)
コンビニ
給食

Question **02**
勤務日の昼食は
どうしてる？

＼服装・昼食から退勤後の過ごし方まで／
兵庫県職員のリアルな声!?

Voice

当誌に登場した職員に8の質問

あなたが兵庫県で働く時の参考になるかもしれない
あんなことやこんなこと…。
職場の雰囲気、働くイメージが想像できる、かも！

＼LUNCH／



お弁当派が多数。でも「天気の良い日は外のベンチで先輩とパンランチ」や「たまには同期で集まって外食」、「出張先で各地の地元グルメを楽しむことも」など特別な日を楽しむ様子も。

Question

03
スケジュール管理の
方法は？

データ…50%
手帳…25%
ハイブリッド…25%

共有のしやすさからデータが人気。普段はデータで管理しながら、外出時の確認用として手帳を使うという声も。



Question **04** これまでの
最大連続休暇日数は？

～7日…70%
8～10日…15%
11日以上…15%

休暇の過ごし方は旅行が大半。

そのほかにも、帰省や映画鑑賞、出産の立ち会いまで。ハワイ、オーストラリア、ヨーロッパなど、休暇を利用して海外旅行に行く人もいます。



「休みが取りやすい」

(1時間単位で取れる、子どものイベントに参加しやすい、年休を自分のペースで取りやすい、等)

「服装の自由度が高い」「職場の雰囲気が柔らかない」
「職種・職場によっては出張が多い」
「同じ職種でも配属先によって仕事内容が大きく異なる」
「県庁用語がある」「本庁と地方機関で雰囲気が異なる」
「忙しい時とそうでない時の波が大きい」
「思ったより裁量権が与えられており、仕事がしやすい環境」

公務員はお堅い、真面目というイメージはもう古い!?

Question **05**
入庁してきて
びっくりしたこと、
意外だったことは？

Question **06**
兵庫県と言えば
「五国」「広い」「美味しい」「美しい」
「ポートタワー」「日本の縮図」
「自然」「甲子園球場」

日本海と瀬戸内海に接している兵庫県。面積が広く地域によって特色があるのはもちろん、神戸牛、但馬の松葉ガニ、淡路の三年とらふく、丹波の黒豆、日本酒などグルメの宝庫でもあります。



Question **07** 本日の勤務が終了。
さあ何をします？

退勤後の過ごし方は人それぞれ。プライベートの充実が仕事のスイッチにつながるのかも。

料理 ゲーム 家事 育児 テレビを観る
動画を見る 外食 ジム ジョギング ホットヨガ
キックボクシング 買い物 野球観戦 同僚とご飯
犬の散歩 整体 習い事 晩酌 ドライブ
読書 編み物 カフェ巡り 勉強
SNSチェック 社会人サークルの活動に参加

宍粟市のスキー場。
平日は比較的空いているので、休暇を取って、思いっきりスノーボードを楽しめる。

淡路島。
温泉もマリンスポーツもできて何回行っても楽しめる。

神戸の元町。
カフェやパン屋さんを巡るのが楽しい。

豊岡市の竹野海岸。
県北部に赴任して初めて見たとき、とてもきれいな青い海で驚いた印象があります。

神戸の大蔵海岸。仕事帰りに明石海峡大橋や淡路島のライトアップを見ながら、ベンチでゆったりと過ごします。

神戸市内にある鳥原貯水池。
繁華街に比べると格段に涼しく静かで、デイキャンプをするのにもってこいの場所。

宝塚。
宝塚歌劇や街並みが好き!

Question **08** 県内でお気に入りの場所を
教えてください。

リフレッシュできたりレジャーが楽しめる自然豊かな場所がお気に入りという声多数。地元や初任地だから愛着があるという声も。





駅長と打ち合わせ中。

県庁はさまざまな部署で働けるので、多様な経験を積めると考え入社したのですが、さらに視野を広げたいと思い民間派遣研修を志望。令和6年度まで JR 西日本近畿統括本部兵庫支社で、地域共生を担う部署に所属していました。当時関わった事業だと、例えばユーザー数 100 万人を超えるスマホゲームのコラボ誘致。但馬地域の鉄道利用促進と沿線の賑わいづくりのために、県民局や市町と連携してノベルティ作成やラッピング車両を企画しました。また大規模輸送障害時に帰宅困難者を行政施設に受け入れてもらう協議なども担当。県職員では関わる機会のない官民含めた多くの社外関係者との人脈が広がることも兵庫支社で勤務する魅力の一つだと思います。研修前の県庁時代は担当業務を着実にこなすことに精一杯でしたが、今は一歩ステップアップして、自分の業務だけでなく、全体としてどういうことをするべきなのか、複数の視点や立場から物事を捉えることができるようになったかなど。今後も研修の経験を活かして特定の分野に拘らず、あらゆる分野でさらに挑戦していきたいと思っています。

西日本旅客鉄道株式会社に派遣（令和5・6年度）。

01

派遣研修

民間企業で武者修行も。

02

地方勤務

3年交代制!?

好きな酒蔵のある但馬地域で勤務したいという念願がかなって異動に。冬の除雪など、但馬ならではの生活環境に少し戸惑いはあったものの、やっぱり但馬は自然の豊かさが魅力。夏は海、冬は雪と、休日は同僚とレジャーを満喫できました。



但馬

慣れない除雪は大変だけど、夏は海、冬は雪を満喫。

太陽が反射して光る海を見ながら通勤。

毎朝の車通勤で見える景色が太陽の光が海に反射してきらきらしてほんとに綺麗で。ウキウキしながら通勤してます。淡路島まつりには病院から有志を募って参加。地域の方との触れ合いもとても楽しいです。



淡路

【作業療法士】淡路医療センター勤務（令和4~7年度）



西播磨

【教育事務職】相生産業高等学校勤務（平成28~30年度）

西播磨は人情が厚い人や面倒見のいい人が多くて（良い意味で敬語を使わない…）距離感の違いにびっくりしたり、相生ペーロン祭で他校の事務職員と交流したりと、地域ならではの文化や経験はどれも新鮮で面白かったです。

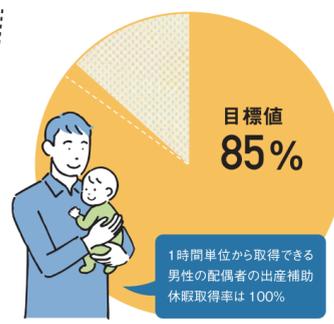
ペーロン祭や海上運動会。地域ならではのイベントにも参加。

04

新人研修・OJT

入庁後は県職員としての心構えや基礎的知識を習得できる新任職員研修を実施。また、新任職員に先輩職員がマンツーマンで1年間つく、エルダー制度も。上司への報告の仕方からWordやExcelの操作方法まで丁寧に教えてもらえます。困ったことがあっても、一緒に解決してくれる先輩職員がいるので安心なのです。

頼れる先輩あり。



男性の育休取得率、86.8% (R6年実績)

子どもが3歳になるまで休業できる育児休業（育休）。女性の育休取得率100%に対して、男性の育休取得率も目標値の85%を上回る86.8%（希望者の100%）となっており、仕事と育児の両立に向けた制度が活用できる職場づくりを進めています。

10

兵庫県のキーワード

1年目職員のスケジュールや服装から、キャリアアップまで。県職員を表す10のキーワードで、入庁後のイメージが膨らむかも!?

08

服装

県民サービスの一層の向上を目指し、業務の効率化と自由で柔軟な発想の創出につながればと、勤務時の服装を柔軟化。通年でノーネクタイ、ノージャケットが可能に。あくまでTPOに応じた服装をベースにしながらですが、個々の状況に応じた働きやすい服装で勤務できます。

ノーネクタイ、ノージャケット。



座談会

05

複数職種連携



川西市でも児童センター係長1課 児童福祉司

福知山市児童センター係長1課 総合事務職

尼崎子ども発達センター育成支援課 心理判定員

プロ×プロ。 違う職種や分野のプロたちが連携をとりながら進めることが多い県の事業。 各職種が横につながりチームでのぞむ。

【児童】例えば保護した児童に対して、本人の心理的なケアは心理判定員が、保護者や地域との調整は児童福祉司が、というふうにタッグを組むんです。

【心理】児童福祉司さんたちがそうやって子どもの環境を整えてくれるからこそ、私たちはじっくり子どもと向き合える。たまにそれぞれの見解が交錯することもありますけどね。

【児童】そうそう。お互いの専門知識が違うからこそ、その子にとって何がベストか、視点も違うから。

【心理】「これやったら子どもも安心できるし、親御さんも納得できるはず」っていうところまで二人で何度も話し合いながら。

【総合】子どもたちのためにひたすら向き合っているんですよね。そんな現場でどんなシステムがあったらよりスムーズか、を考えるのが総合事務職の私の仕事かなと。

【心理】現場ではそんなことまで気が回らないから、現場の声を聞きながら土台作りをしてもらっているのはほんとにありがたい!

【児童】ほんとに。ありがたい言葉になっちゃうけど「子どもの幸せ」が僕たちみんなのゴール。そのためにそれぞれが敬意を持ちながら時にはぶつかりあう。そんな感じですよ。

06

1年目でも NOT「ボール拾い」。

1年目職員の1日

人事委員会事務局任用給与課 所属、1年目職員のリアルなタイムスケジュール。

- 9:00 出勤（メールやチャットの確認）
- 9:30 他府県照会の回答作成
- 10:30 採用試験案内の作成・試験会場の調整
- 11:00 オンライン研修を受講
- 12:00 昼休み
- 13:00 午後からの出張の準備（持参物や資料の最終確認）
- 13:30 出張
- 14:45 説明会で講演
- 17:45 退勤

Comment
他府県からの採用試験に関する照会に対応。過去の資料やデータを遡り証拠や根拠を見つける作業は結構大変...

Comment
新人研修は対面だけでなく、オンラインで実施する科目も。この日は地方自治制度に関する講義を業務の隙間を見つけて受講!

Comment
大学主催の説明会に講師として出席。みなさんにとってはじめて接する県職員。1年目の私が県の顔に!?!とも思えけれど、就職活動の大変さが分かるからこそ私にできることもあるのでは?という気持ちでお話しました。

03

育児休業

07

ワークスタイル



新長田合同庁舎 サテライトオフィス

職場勤務に加え、テレワークの活用により、例えば午後からの子どもの学校行事参加のため午前是在宅勤務、先輩と出張先でサテライトオフィス勤務など、その日の事情に合わせた柔軟な勤務が可能。Microsoft Teams のビデオ通話やチャットを活用した活発なコミュニケーションの促進や紙資料を中心とした業務のペーパーレス化など、テレワーク環境の充実も進めています。

テレワークOK。ライフスタイルに合わせて柔軟に。

09

スペシャリスト育成プログラム

ジェネラリストでありながら、スペシャリストにも。

総合事務職の場合、採用後はジョブローテーションで本庁と地方機関の両方を経験。その中で特定分野を極めたいと考えた場合、スペシャリスト育成プログラムにより、一定期間、特定分野に軸足を置いたキャリア形成を選択できます。現時点では、税務、用地・管理、福祉、デジタル、病院事務の5つの分野が選択可能。

10

ひょうごビジョン 2050

ビジョンなるものがあるらしい。

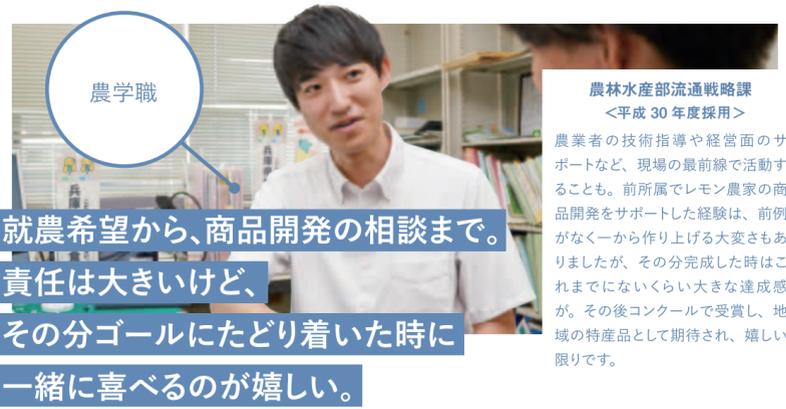
社会が大きく変化し、先の見通しが難しくなる中、どこに向かって進んでいけばいいのかわからない。10,000名を超える県民の声をベースに、一世代後の2050年頃の兵庫のめざす姿を描いた「ひょうごビジョン 2050」。全県ビジョンと一体的に9つの地域ビジョンを策定しています。



いつか母校の
改修工事を担当したい。

機械職

まちづくり部設備課
＜令和2年度採用＞
県立高校のトイレ改修や空調改修工事の設計・工事監理を担当しています。業者のスケジュール管理や県の決まりに則った細かいチェック項目の点検など大変ですが、学校や施工業者と協力して無事に完了すると大きな達成感も。いつか母校の改修工事も担当したいと思っています。



農学職

就農希望から、商品開発の相談まで。
責任は大きいけど、
その分ゴールにたどり着いた時に
一緒に喜べるのが嬉しい。

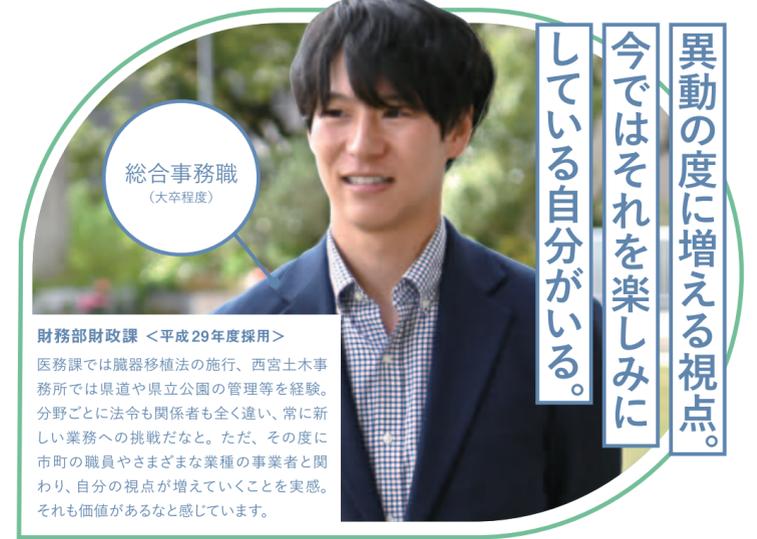
農林水産部流通戦略課
＜平成30年度採用＞
農業者の技術指導や経営面のサポートなど、現場の最前線で活動することも。前所属でレモン農家の商品開発をサポートした経験は、前例がなく一から作り上げる大変さもありましたが、その分完成した時はこれまでにないくらい大きな達成感が、その後コンクールで受賞し、地域の特産品として期待され、嬉しい限りです。



小中学校事務職

教員とは異なる側面から生徒を支えたい。

姫路市立山陽中学校
＜令和5年度採用＞
体育大会で生徒全員リレーの実施が決まり、70人分のピブスを急遽手配するようなことも。私たちが事務職も学校生活を支えているんだと日々感じます。生徒たちが安心・安全に学校生活を送れるように環境を整えることを大事にしていきたいです。



総合事務職
(大卒程度)

異動の度に増える視点。
今ではそれを楽しみに
している自分がある。

財務部財政課
＜平成29年度採用＞
医務課では臓器移植法の施行、西宮土木事務所では県道や県立公園の管理等を経験。分野ごとに法令も関係者も全く違い、常に新しい業務への挑戦だなど。ただ、その度に市町の職員やさまざまな業種の事業者と関わり、自分の視点が増えていくことを実感。それも価値があると感じています。

全方位にアンテナを張る

さまざまな経験に
チャレンジできるのも、
相談できる環境があればこそ。



総合事務職
(高卒程度)

県民生活部くらし安全課
＜平成27年度採用＞
さまざまな部署を経験できるのが魅力だなど感じると同時に、異動の度にマニュアルのない業務に戸惑うことも。でも周りの職員や上司がいつも親身になって一緒に考えてくださる環境に助けられています。食べることが好きなので、いつか農林関係の部署で食に関わる仕事がしてみたいです。



臨床
検査技師

「緊張していたけど安心した」の
言葉が仕事への
モチベーションにも。

尼崎総合医療センター検査部
＜令和2年度採用＞
時の変化に応じた知識や技能を学ぶため、学会や勉強会にも参加しています。そこで得た知識を現場に生かせるまでには時間がかかるため、もどかしさもありますが、対応できるようになった時の達成感や患者さんからの「緊張していたけど安心した」という言葉にやりがいを感じます。

こんな仕事、あんな人。

時には目の前の声に向き合い、時には土台作りを奔走する。
入庁して数年。日々を走り抜けてきた先輩職員たちの
言葉から探る、県の仕事とは。



建築職

景観や観光にも関わられるのが魅力。
建築だけで完結するのではなく、

まちづくり部営繕課
＜平成30年度採用＞
設計だけでなく都市計画やまちづくりなど建築に多岐に携わりたいと思い、県職員に。現在は建物の古くなった外壁の塗り替えや学校などのトイレの洋式化に携わっています。関係機関の間に立つ調整を行う難しさはありますが、要望が反映できたり順調に工事が進んだときは達成感があります。

自分に問いかける日々。
寄り添いがちになつていないか、
子どもの立場だけに



児童福祉司

川西子ども家庭センター
保護第1課
＜令和2年度採用＞
児童福祉司として、今の職場のように子どもたちと直接関わる現場を担当することが多いですが、児童家庭課時代は児童相談所の運営や施策づくりなども担当。現場での経験をもとに体制改善などに取り組みました。児童相談所は人の人生に関わる場所。専門的な知識はもちろん、自分の人生の経験値も大切にしていきたいです。



総合土木職
(農業土木分野)

篠山土地改良事務所整備課
＜令和5年度採用＞
現在は丹波の特産品である黒豆、お米などを育てる農地や、そこに水を引くため池の整備を通して、農村地域資源を守る連絡調整などを担当。知識不足を実感することもあります。サポートが手厚い職場なので周囲に相談しながら進めています。地元の方が困っていることを、ひとつずつ解消できることが今の1番の喜びです。

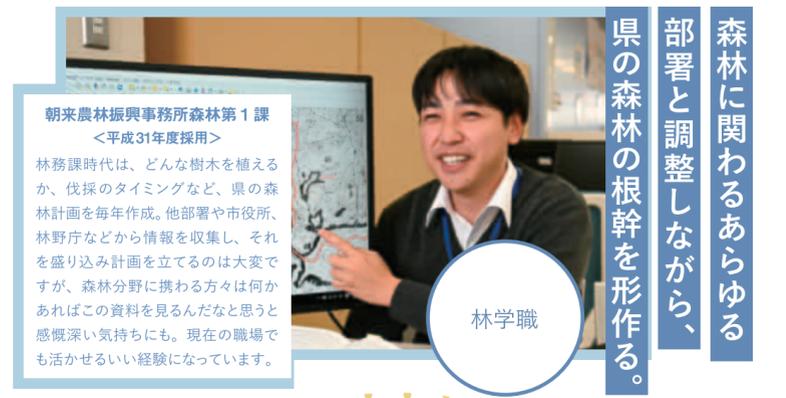
ひとつずつ、でも確実に。
地域の方が困っていることを
解消していきたい。



総合土木職
(一般土木分野)

安心して暮らしてほしいから。
ただ工事を完了させるだけでなく、
住民の気持ちも考える。

西宮土木事務所河川砂防課
＜令和5年度採用＞
現在は河川や砂防の整備に加え、住民からの通報があれば現場に向いて確認するなど、維持管理業務も担当。ただ業務をこなすだけでなく、「どう対応したら安心できるだろうか」ということも常に考えたい。だから県職員としての目線と地元で暮らす住民の目線、どちらも意識することを大事にしています。



林学職

朝来農林振興事務所森林第1課
＜平成31年度採用＞
林務課時代は、どんな樹木を植えるか、伐採のタイミングなど、県の森林計画を毎年作成。他部署や市役所、林野庁などから情報を収集し、それを盛り込み計画を立てるのは大変ですが、森林分野に携わる方々は何かあればこの資料を見るんだなと思うと感慨深い気持ちにも。現在の職場でも活かせるいい経験になっています。

森林に関わるあらゆる
部署と調整しながら、
県の森林の根幹を形作る。



作業療法士

患者さんにも対応できるように。
ジェネラリストになることが目標。

県立病院に入院されるどのような
患者さんにも対応できるように。

淡路医療センター
リハビリテーション部
＜令和4年度採用＞
急性期病院では患者さんの状態が変化しやすく、病状や治療等の全体像の把握、リハビリの負荷量を考えるのが難しいですが、リハビリを通して大きく改善する症例を経験できるという面も。県立病院には様々な疾患の方が入院されるので、今後は難病の方や重症例の作業療法も勉強していきたいです。



薬剤師

尼崎総合医療センター薬剤部 <令和4年度採用>
緩和ケアにおいて、薬剤師としての知識だけでは対応が難しい場面も。経験の浅さもあり医師や患者さんに自信を持って説明できず、悔しい思いをすることもありますが、この思いを原動力に変えて、積極的に勉強会に参加したり、現場でも経験を積み、迷うことなく自分の考えを提案できるようになることが今の目標です。

経験不足で悔しい思いも。
いつかは薬剤師として自信を持って
自分の考えを提案できるようになりたい。



理学療法士

子ども病院
リハビリテーション部
<令和2年度採用>
子ども達はいろいろなことを我慢しながら治療を頑張っているの、少しでもリハビリの時間が楽しくなるような話し方やプログラムを提供できるよう心がけています。一緒にいる時間が長い分、リハビリを通して退院後の学校や習い事といった日常のサポートもできたいなと思っています。

治療を頑張る子どもたちが、
楽しみながら
リハビリができるように。



栄養士

尼崎総合医療センター
栄養管理部 <平成28年度採用>
患者さんの生活背景を深く知り、信頼関係を築きながら、生活習慣の変化や数値の改善につなげていくことが、この仕事の興味深さ。年々、連携する医師や看護師、理学療法士など他職種のみなさんから頼られることも増え、責任感も感じますが、お互いに困ったら気兼ねなく連絡し合える今の関係性を心地良く感じています。

他職種との連携で頼られることも。
年齢も飛び越えられる関係性が心地良い。

常に相手のことを
想つての工夫

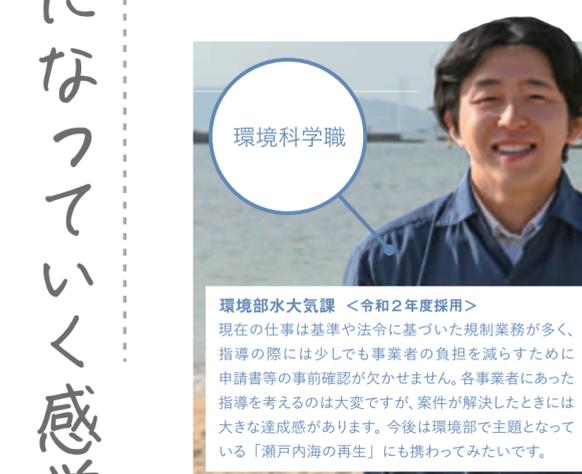
点と点が線になつていく感覚



心理判定員

尼崎子ども家庭センター
育成支援課
<令和3年度採用>
対話を重ねた子どもが少しずつ自分自身と向き合うようになり、進路という新たな一歩を踏み出すときに立ち会えたことが嬉しかったです。大人の目線と子どもの目線は違うため、子どもの本心をないがしろにしないように、勝手な思い込みもたず一緒に考えていくことを大切にしています。

何がベストか、悩むことも多い。
それでも子どもとの「こうしたい」に出会えたときに嬉しい。



環境科学職

環境部水大気課 <令和2年度採用>
現在の仕事は基準や法令に基づいた規制業務が多く、指導の際には少しでも事業者の負担を減らすために申請書等の事前確認が欠かせません。各事業者にあった指導を考えるのは大変ですが、案件が解決したときには大きな達成感があります。今は環境部で主題となっている「瀬戸内海の再生」にも携わってみたいです。

様々な問題が複雑に関わる環境問題。
営利企業では対処しきれない問題に
携わりたいから兵庫県に。



**総合事務職
(経験者)**

民間時代はなかなかできなかった
地方創生に力を注ぐ。



**獣医師
(衛生)**

県民の食の安全を守る、
縁の下の力持ち。

動物愛護センター龍野支所
<平成29年度採用>
県の獣医師は一般的な獣医師のイメージとは異なる仕事も。例えば以前の所属では、食中毒の調査や飲食店の許認可などを担当。県民の方が普段口に入っている食べ物の安心を支える、縁の下の力持ちのような役割も誇りでした。県では獣医師の資格を活かして、多様な業務に関われるのも魅力だと思っています。

企画部万博推進局万博推進課
<令和4年度採用>
国際課在籍時は姉妹州省との交流の一環で海外出張に。現地での視察内容の検討や事前準備は大変でしたが、英語力を活かすことのできた経験に。いつか大学院派遣制度を活用して海外の大学院で行政に関する研究もしてみたいし、民間ではなかなかできない地方創生に力を注ぎたいです。



保健師

保健医療部健康増進課
<令和2年度採用>
人工呼吸器装着児の家族から「医療的ケア児が通える学校園所がないことが不安」と聞き、市と協働でサポートハンドブックの作成に携ったことも。行政保健師として個別支援も施策づくりも、地域の方々の期待に応えられるよう日々励んでいます。

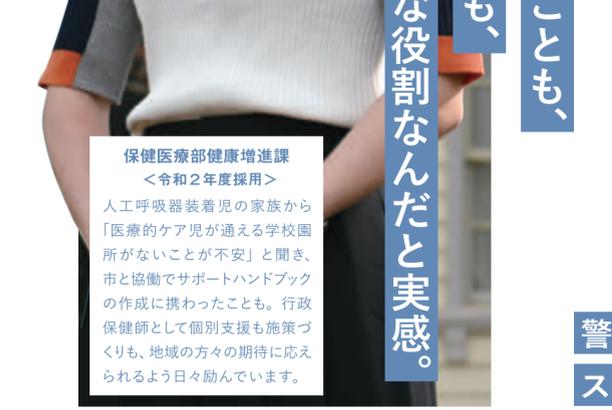
行政保健師としての大きな役割なんだと実感。
施策づくりに携わることも、
ひとりひとりと向き合うことも、



教育事務職

教育委員会事務局総務課 <平成28年度採用>
高校や美術館と、これまでいろいろな職場を経験。特に教育委員会事務局に異動してからは、子どもたちが将来どういう大人になりたいか、考えられるような環境をつくるのが大事だと思うように。行政の立場からそのきっかけづくりができればいいなと思っています。

何がしたいか漠然としていた
学生時代。異動と経験を
通して目標が芽生えた。



警察事務職

警察本部総務部会計課
<平成28年度採用>
警察組織を円滑に運営するためには警察官との連携が必要不可欠です。業務内容や分野は異なりますが、それぞれが担当分野のスペシャリストなので、より良い業務につなげるためにお互いに意見を聞くことを大事にしています。

警察と警察事務職、それぞれが
スペシャリストとして県民の安全を守る。

さまざまな視点があることを知る



**獣医師
(農林)**

動物と生産者が
よりよい環境で過ごすために、
多方面から支援したい。

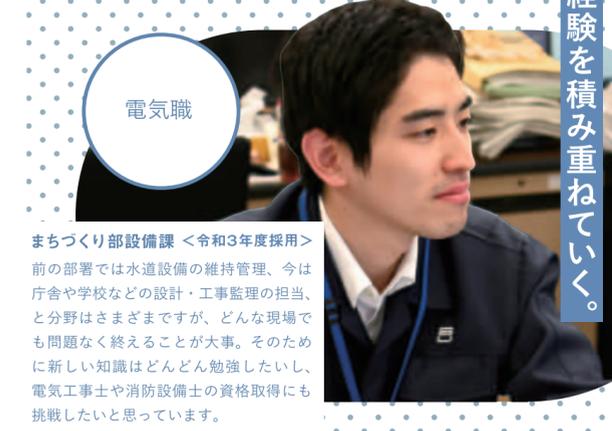
農林水産部畜産課
<令和2年度採用>
個体の診療や検査だけではなく、畜舎の建設支援など多方面から動物の支援ができる立場になりたい、と兵庫県獣医師を希望しました。感染症対策などでは規制内容と生産者の現場での都合が合わず指導が大変な時もありますが、獣医師として畜産振興のためにどうすればいいかを考えるようにしています。



水産職

「魚が獲れる海」を目標に、地元兵庫県の水産業を活気づけたい。
見ることも食べることも大好きな魚。

農林水産部水産漁港課
<平成30年度採用>
現在は資源管理関係事務を担当しており、水産庁や県下の漁業者と漁獲報告体制の構築等を進めています。直接漁業者と意見交換する機会も多く、漁業種類ごとに異なる特徴や獲れる魚種の豊かさに驚くことも。兵庫県は瀬戸内海と日本海に接しており、「日本の縮図」を肌で感じられるのが、この仕事の面白さだと感じています。引き続き、ひょうごの海の課題解決に向けて取り組んでいきたいと考えています。



電気職

まちづくり部設備課 <令和3年度採用>
前の部署では水道設備の維持管理、今は庁舎や学校などの設計・工事監理の担当、と分野はさまざまですが、どんな現場でも問題なく終えることが大事。そのために新しい知識はどんどん勉強したいし、電気工事士や消防設備士の資格取得にも挑戦したいと思っています。

担当の現場を常に
無事完了させるために。
これからも知識や
経験を積み重ねていく。